

平成 25 年 10 月 25 日

長野市廃棄物減量等推進審議会

会長 富所 五郎 様

一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定専門部会

部会長 清水 久美子

一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定専門部会
での審議経過及び意見報告について

このことについて、下記のとおり審議を行い、専門部会としての意見を取り
まとめましたので、報告します。

記

1 審議経過

(1) 平成 25 年 5 月 20 日（月）

ア 審議内容

(ア) し尿処理及び生活雑排水処理の概要について

(イ) 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定について

a 手数料改定、収集方法等の方向性

イ 主な質問・意見

委員 し尿等の収集人口が減少していくが、ある程度、収集車両は残
しておかなければいけない。災害時の収集も必要だが、どういう
考えか。

事務局 収集量が減って体制を維持しようとする、市民負担が増えて
しまう。今までし尿収集運搬の補助まで踏み込んでいないが、今
回は大きな議論の観点のひとつと考えている。

(意見)

委員 大きな値幅の変動は好ましくないが、下水道整備の進捗により、

し尿収集の利用者が減少し、業者の負担が大きくなってしまいうので、値上りは止むを得ない。

委員 傾向として、下水道に接続している方より汲み取りの方は、少し所得が低いと感じるので、そういうものを考慮しながら、料金体制を決めていく方向が良い。

(2) 平成 25 年 7 月 18 日 (木)

ア 審議内容

(ア) 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定について

a し尿処理手数料の改定案

イ 主な質問・意見

委員 車両台数は現状の台数で良いか。稼働率が低い理由は何か。

事務局 現有の台数である。また、稼働率が低い理由は、長野市以外の市町村で収集している車両があるためである。

委員 収集原価が地区によって異なるが、行政支援はどの程度するのか。

事務局 どこまで支援すべきか、もう少し収集業者の実態調査や協議が必要である。予算計上の必要もあるので、どの程度が必要か検討していく。

委員 中核市で長野市の収集経費が非常に低いのは、企業努力や行政努力によるものだが、他市の地域事情はどうか。

事務局 福山市（最低値）は、離島の限られた世帯を少ない経費で民間に委託している。長野市は以前から民間へ委託する道を選んだが、富山市（最高値）は現業部門を公社へ移行していったと思われる。

(意見)

委員 合併時の協定が無いということなので、この原価計算の方法は妥当である。

委員 業者に収集を辞められては困る。今後収集量が増えることは無いので、災害時を考慮すると現在の収集体制を確保すべきである。

(3) 平成 25 年 8 月 29 日 (木)

ア 審議内容

(ア) 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料改定について

a 生活雑排水処理手数料の改定案

イ 主な質問・意見

委員 稼働率が低く効率が悪い気がするが、理由は何か。

事務局 稼働していない車両に対し市民から手数料を求めたり、財政負担する訳にはいかないなので、調査の結果、長野市に係る業務割合を算出し、実台数を出したものである。

委員 稼働率が低いから余計に補助金を出しているということではないのか。

事務局 そういうことではない。

委員 1 台当たりの収集経費が下がってきているが、原因は何か。

事務局 一番影響しているのは人件費である。各事業者の経営努力もあり、また、仕事量の減少に伴い従業員も減らしてきている実態がある。

委員 3 K 職場に該当するが、人材確保は出来ているのか。

事務局 新規採用はほとんど無い。現在の人員体制維持のため、許可業者から単価を上げるよう要望がある。

(意見)

委員 インフラ整備の過渡期として、受益者の生活の利便確保のため、財政支出は止むを得ない。

委員 市民に対し、受益者の負担割合を含め懇切丁寧に説明するよう要望する。

2 専門部会としての意見

し尿処理手数料及び生活雑排水手数料の改定案については、事務局案（別紙）のとおりとする。